

思いはばたく 音楽の日

INAMORI ミュージック・デイ

指揮
Conductor

坂入 健司郎

Kenshiro Sakairi

チェロ
Cello

佐藤 晴真

Haruma Sato

管弦楽
Orchestra

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

©Taira Tairadate

©Seichi Saito



©京都市交響楽団

2023 **11/3** (金祝) 14:00開演 (13:00開場)
京都コンサートホール 大ホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

全席指定 **2,000円**

開演前 (13:30ごろ～) は
指揮者による「プレトーク」をお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。

チケット発売
8/26 (土)

- ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。
- ◆未就学のお子様は入場不可のため、1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2023年10月27日までに京響(075-222-0347)へお申し込みください)
 - ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
 - ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。
京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

主催：公益財団法人稲盛財団
共催：京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、
京都銀行、京都新聞、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

中高生
300名
無料ご招待
詳細は裏面へ

プログラム

林光：吹きぬける夏風の祭
Hikaru Hayashi: Carnival, the Wind-borne Premonition

サン・サーンス：チェロ協奏曲 第1番 イ短調 作品33
Saint-Saëns: Cello Concerto No.1 in A minor op.33

ラヴェル：道化師の朝の歌
Ravel: Alborada del gracioso

ラヴェル：古風なメヌエット
Ravel: Menuet antique

ラヴェル：ボレロ
Ravel: Boléro

チケットご予約

- ・京都コンサートホール (075)711-3231
- ・ロームシアター京都 (075)746-3201
- ・24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード247-854
- ・ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード52835

指揮 坂入 健司郎

Conductor: Kenshiro Sakairi



© 中川幸作

慶應義塾大学卒業。指揮法を井上道義、小林研一郎、三河正典、山本七雄各氏に、チェロを望月直哉氏に師事。また、ウラディーミル・フェドセエフ氏、井上喜惟氏と親交が深く、指揮のアドバイスを受けている。2008年より東京ユヴェントス・フィルハーモニーを結成し、J.デームス氏、G.ブーレ氏、館野泉氏ほか世界的なソリストと共演。15年、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンへ出演。MOSTLY CLASSIC誌「注目の気鋭指揮者」にも推挙された。16年、川崎室内管弦楽団の音楽監督に就任。18年には東京シティ・フィルに初客演、オルフ「カルミナ・ブラーナ」を指揮。マレーシア国立芸術文化遺産大学に客演するなど海外での指揮活動も行った。20年、日本コロムビアの新レーベルOpus Oneよりシェーンベルク「月に憑かれたピエロ」をリリース。これまでに大阪響、読響、日本フィル、新日本フィル、神奈川フィル、仙台フィル、名古屋フィル、愛知室内、大阪フィル、京響などへ客演を重ねている。

チェロ 佐藤 晴真

Cello: Haruma Sato



© Tomoko Hidaki

実力・人気を兼ね備えた若い世代を代表するチェリスト。2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年にはルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位および特別賞を受賞。ほかにも、第83回日本音楽コンクール チェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など受賞多数。バイエルン放送響をはじめ国内外の主要オーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博している。20年11月、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses～ブームス作品集～』をリリースし、第13回CDショップ大賞2021クラシック賞を受賞。今春、待望の3rdアルバム『歌の翼に～メンデルスゾーン作品集』がリリースされ、話題を集めている。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞、第32回日本製鉄音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰（国際芸術部門）。現在は、ベルリン芸術大学在学中。使用楽器は宗次コレクション貸与のE. ロッカ1903年。

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra



© 井上写真事務所 井上嘉和

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を取めた。17年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等受賞。20年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一（22年3月まで）、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド（23年3月まで）が就任。08年4月から22年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。23年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任。さらに24年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任予定。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

中高生対象に300名を無料でご招待します

参加をご希望される方は右のQRコードから必要事項をご記入の上、お申し込みください。
申込締切：10月4日(水)



- ・入場の際にはご本人の学生証のご提示が必要になります。
- ・同伴者（未就学児を除く）は1名まで同時にお申し込みできます。
- ・応募者多数の場合は抽選とし、招待メールの送信をもって当選の発表といたします。

公益財団法人稲盛財団は、京都市交響楽団、招聘アーティストと協同して、文化芸術振興を目的としたプログラム「INAMORI ミュージック・デイ」を2022年に開始しました。このプログラムは、市民や学生のみならず、文化芸術のすばらしさを再発見し、人生をより豊かにするための機会を提供したいという思いから生まれました。毎年11月3日「文化の日」には、京都市交響楽団と招聘アーティストによるコンサートを開催します。また、同時期に出張コンサート・出張授業などのイベントを企画し、より多くの方々が音楽と出会う機会を創出します。

関連プログラムのご紹介

「INAMORI ミュージック・デイ 2023」 ミニコンサート at 京都市京セラ美術館（無料・申込不要）

美術館で京都市交響楽団のメンバーがアンサンブルを奏でます。音楽と美術、二つの芸術の出会いをぜひお楽しみください。
日時：2023年10月15日(日)、17日(火)、24日(火)
11:00～、13:00～（各日・各回30分公演）
会場：京都市京セラ美術館 中央ホール
出演：京都市交響楽団
協力：京都市京セラ美術館



2022年のミニコンサートの様子 © 京都市交響楽団

「INAMORI ミュージック・デイ 2023」 スクールコンサート&レッスン

今注目の若手音楽家が学校に訪問し、生徒たちの前で演奏を行います。音楽家と直接交流し、未来への展望を膨らましてもらうことを目指します。今年は京都府立西舞鶴高等学校にて坂入氏と佐藤氏が全校生徒に向けたコンサートと吹奏楽部への演奏指導を行います。



「人類の未来は、科学の発展と人類の精神的な深化のバランスがとれて、初めて安定したものになる」という創立者 稲盛和夫（京セラ株式会社 創業者）の理念のもと、1984年に設立されました。国際賞「京都賞」、研究助成、社会啓発の三つの事業を通じて、学術の発展と文化芸術の振興に貢献しています。